

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

日本の文化を歴史ある京都で学びたいと思ったからです。また、同志社女子大学は立地がよく、通いやすいところにあるからです。

- (2) 一般入試対策としての受験勉強の進め方について。

〔1学期〕

1学期の時点ではまだ志望校が確定していなかったので、基礎を固めることに専念しました。英単語や古文単語を覚えたり、定期テストの勉強をしたりしました。5月の末まで部活をやっていたので本格的な受験勉強ができませんでした。が、隙間時間などを利用していました。

〔夏休み〕

毎日古文の問題集を解き、英熟語を1日100個覚えて何周もしました。解説を読んだり解き直しをしたりするのは時間をかけました。日本史はセンターなどの過去問を解き、わからなかったところを教科書で確認して次からは絶対に間違えないうちで覚えていきました。日本史に関しては、色々な大学の過去問を解いてそのたびに頭に入れていくのがいいと思います。

〔2学期～入試直前〕

2学期にはほとんど志望校が確定したので各大学の過去問を解き始めました。同志社女子大学の過去問は後期も含めて5年分やりました。

入試直前まで同志社女子大学の国語と英語に触れ、問題に慣れるようにしました。過去問を解けば、今自分に何が足りないのか、何を勉強するべきなのか見えてくるのでできるだけたくさん解いておくのがいいと思います。

入試当日は単語帳や文法の本などを持っていき、休み時間に見るといいと思います。

- (3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

私は公募推薦に落ちました。夏休みから公募の勉強を始めましたが、合格に届きませんでした。11月頃には私の成績が伸び悩みスランプで精神状態が不安定なまま入試を受けてしまいました。それでも勉強を続けたら、成績がよくなっていきました。スランプのときは、とにかく勉強を続け、周りの人を気にしないことが大切です。友達に話を聞いてもらったり誰かに相談したりして気持ちを落ちつけてください。受からないと思ってしまったら受かりません。

- (4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

勉強はもちろんのこと、自分の体調や気持ちを管理するのも受験のうちです。模試の判定で落ち込むこともあると思いますが切り替えて勉強を続けてください。応援してます。